歴史古街道団　ガイドリーダーと行く史跡探索！

ガイド：山下　実（団員・東国城館縄張り図会　） TEL 090-5208-3123

「富士フイルム・グリーンファンド助成事業」

百草城と高幡城

寺社から城郭そして寺社への変遷

■日時：**2021 年 10 月 24 日（日）10：00 集合**

■集合：　**京王線「百草園駅」**

（南口から信号を渡り八王子方面に 100m程の道路脇）

■解散：**高幡不動尊境内 15：00 頃**

（最寄り駅　京王線及び多摩モノレール「高幡不動駅」）

■参加費（資料代、保険料、**京王百草園（百草城）入園料を含む**）

一般 1000 円/1 人　団員・団員家族 800 円/ 1 人

＜参加事項＞
- **雨天中止**
  (問合/7:30 まで)
- **事前申込不要**
  (当日現地受付)
- **当日問合せ(須知)**
  TEL090-3695-7580

百草園の地には、鎌倉時代には真慈悲寺が建立されていたが、室町時代以降しだいに荒廃し、跡地は松連寺の境内になった。「風土記稿」によれば「八幡社」として、源頼義・義家が前九年の役に際して戦勝を祈願し、凱旋の際に社殿を再建したとの伝承がある。現在残る百草城の遺構は狭い曲輪の連続で寺院の堂跡を利用・改修して多摩川渡河点の物見或いは砦・集結場のために利用された可能性がある。

高幡不動尊は平安時代初期に不動堂を建立したのが始まりと伝わる。城の初見は享徳４年（1455）古河公方成氏と管領上杉氏の軍勢が分倍河原から立河原一帯で激戦を交え古河公方の勝利となった。「鎌倉大草紙」によれば負傷した上杉憲顕が「高旗寺」（ママ）に逃れて自決したと伝わり境内には上杉憲顕の墓がある。永正元年（1455）の立河合戦でも陣所（陣寺）として使われたと考えられる。

百草城物見櫓

上杉憲顕の墓

▽弁当、飲み物、敷物、雨具は各自ご持参ください。
▽昼食は百草園内又は八幡神社周辺の予定。
　弁当持参をお勧め致します。
▽新型コロナ感染拡大防止のため<u>マスクを着用して</u>
　<u>密にならないような歩行</u>をお願いします。

京王百草園駅 10：00～百草園（百草城）八幡神社～陣屋山～約３㎞歩いて高幡不動尊（高幡城）15：00 頃解散。歩行距離７ＫＭ。（坂道多し。状況によりコースの変更はあります。）

歴史古街道団
本部：東京都多摩市　http://rekkodan.com/